

# スマートフォン iPhone基本編



## アプリについて知ろう

令和7年11月

# 目次

## 1. カメラを使ったアプリ

1-A カメラアプリ.....	P2
1-B 写真アプリ.....	P9
1-C Seeing AI(シーイングエーアイ).....	P16
1-D Sullivan+ (サリバンプラス).....	P20

## 2. 便利なアプリ

2-A マップ.....	P24
2-B radiko(ラジコ).....	P27
2-C Podcast(ポッドキャスト).....	P31
2-D ボイスメモ.....	P34

1

カメラを使ったアプリ

## カメラアプリを使ってみよう

- ① Siriを起動して「カメラを開いて」と声をかけます



※カメラアプリから開くことも可能です



※カメラアプリはロック画面(パスコード認証する前の画面)からジェスチャー操作で開くことも可能です

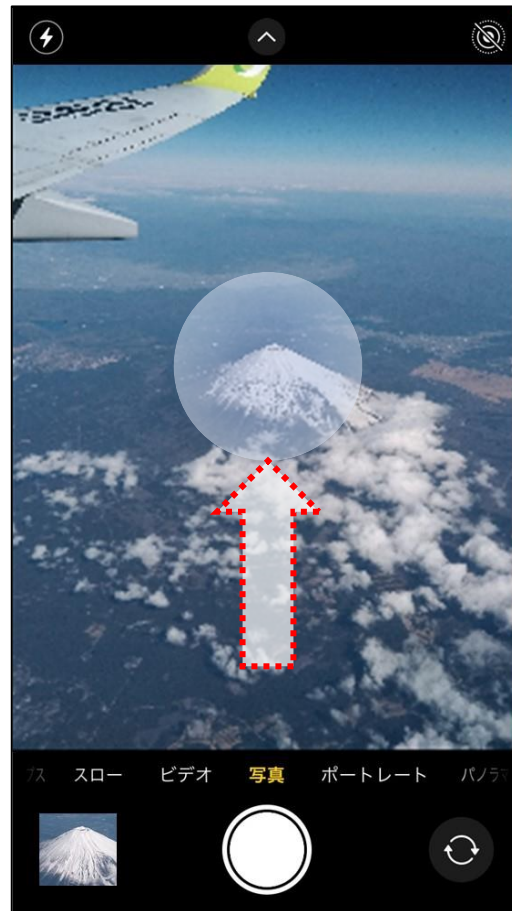
- ② 上下のSwipeでカメラモードに切り替えます



※上下Swipeでビデオやカメラの切り替えができます

カメラアプリを使ってみよう

- ③ 画面上のどこでも良いので2本指でダブルタップすると写真を撮影します



※ビデオは、録画の開始も停止も2本指でダブルタップします

目が見えない、見えにくいとカメラの使用が難しいと考えがちですが、QRコードや文字認識による文章の読み取りなど、視覚障害者でもカメラを利用する機会は多くなってきています

カメラアプリ使用中にVoiceOverを使用していると「左に傾ける」といったように、カメラの水平を保つためのサポート音声や、人物が何人フレームに入っているかといったことを教えてくれます。写真やビデオの撮影に、シャッターの代わりとして音量ボタンが利用できる場合があります。画面右下のカメラセレクトタを選択し、ダブルタップすると、前面と背面のカメラを切り替えることが可能です。

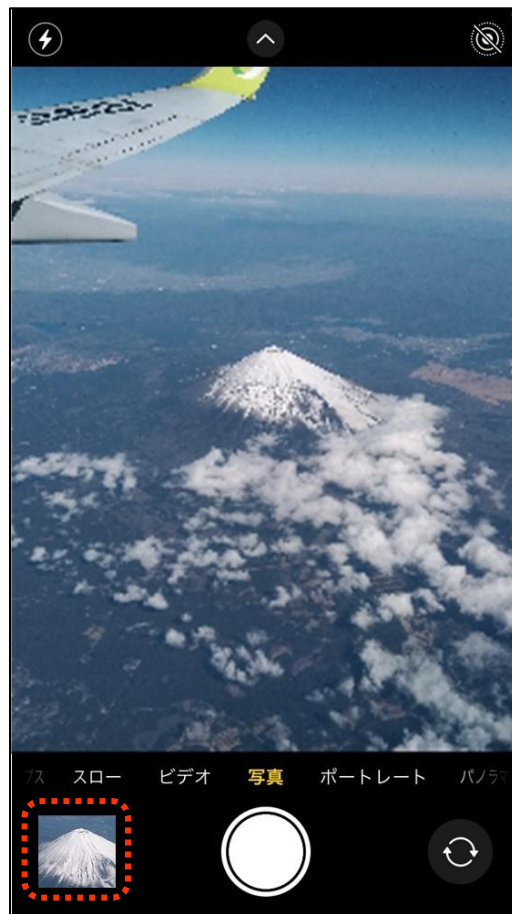
※ カメラモードについては次ページに記載

## カメラアプリのカメラモードは全部で7つあります

①写真	カメラアプリを起動すると最初に選択されるモードです。被写体に合わせて、オートフォーカスで自動的にピントを合わせて、露出の調整までしてくれます。
②ポートレート	カメラに写る人物を自動で判定して背景をぼかします。背景から人物を際立たせた写真が撮れます。※人物以外が対象の場合は通常の写真として撮影されます。
③シネマティックモード	静止画のポートレートモードの動画版と言える機能です。ピントが合う被写体を自動で調整し、それ以外の背景をぼかし、被写体を浮かび上がらせます。本格的な映画のような動画が手軽に撮影できます。機種や本体のバージョンによって利用できる機種とできない機種があります。
④パノラマ	カメラをゆっくりと動かして広角のパノラマ写真撮影が可能です。 ※カメラの高さを保つための補助や動かす速度の補助がありますが、音声化されていません。
⑤ビデオ	動画撮影専用のモードです。通常のビデオ動画を撮影します。
⑥タイムラプス	動画撮影専用のモードです。2倍速のビデオ動画を撮影します。
⑦スロー	動画撮影専用のモードです。0.5倍速のビデオ動画を撮影します。

## 撮影した写真やビデオのビューアでの写真閲覧方法について

- 1 画面左下の「ビューア」をダブルタップします



※音声では「写真およびビデオビューア」と読み上げます



撮影した写真やビデオのビューアでの写真閲覧方法について

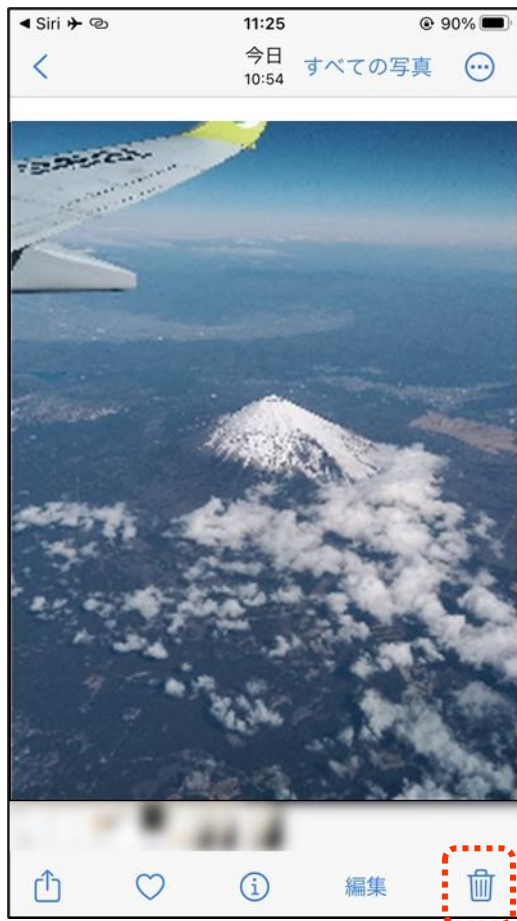
- ② 「写真」と読みあげるまで右スワイプし、  
3本指で左右にスワイプして写真を切り替えます



※「写真セレクト」を選択して、上下スワイプで写真を表示することも可能ですが、数秒間操作しないと、画面左上の「戻る」ボタンに移動してしまいます  
連続して写真を切り替えるには再度「写真セレクト」を選択します

## 撮影した写真やビデオのビューアでの写真削除方法について

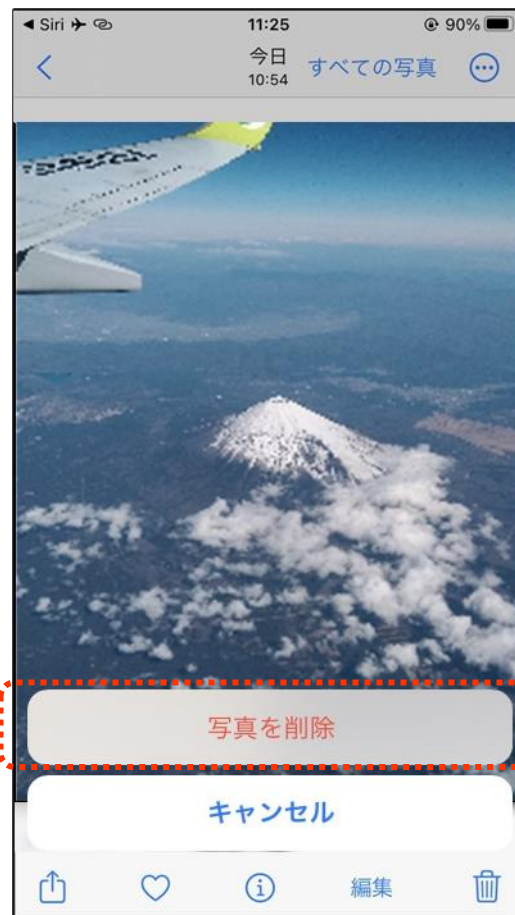
- ③ 右下の削除ボタンを選択して  
ダブルタップします



※写真を表示した状態で、タッチやスワイプして削除ボタンを選択します

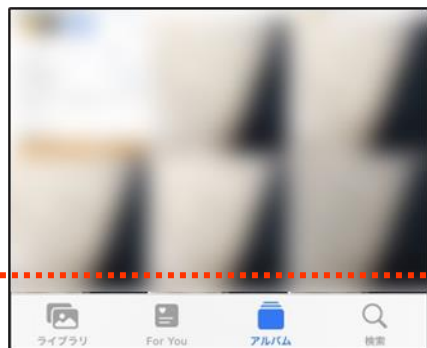


- ④ 「写真を削除」をダブルタップします



※写真アプリからも操作することができます

写真アプリには月別や日別など写真を探しやすく表示するライブラリ機能など、カメラアプリのビューアにはない機能があります



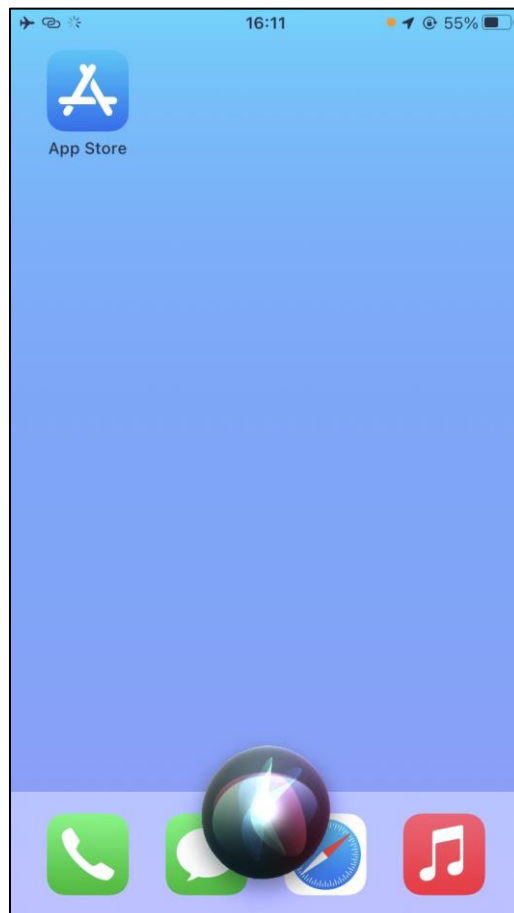
カメラアプリの画面下部にタブバーと呼ばれる場所があり、4つのボタンが並んでいます。タッチやスワイプでボタンをダブルタップするとそれぞれ対応したページが開きます。左からライブラリ、For You、アルバム、検索の順で配置されています。

①ライブラリ	年別や月別、日別、撮影した写真や動画の範囲を決めて絞り込んで探すことができます。
②For You	これまでに撮影された写真やビデオの中からiPhoneが自動で作成したアルバムなどが表示されます。
③アルバム	最近の項目やダウンロードなどフォルダによって写真が管理されています。
④検索	犬や猫、アイスクリームなどのキーワードを入れて検索すると保存された写真内から該当する写真を表示してくれます。

※写真アプリやカメラアプリのビューア閲覧時に、タッチやスワイプで写真やビデオを選択した際に読み上げるのは日付のみになります

写真アプリのライブラリの基本的な操作方法です

- 1 Siriを起動して「写真を開いて」と声をかけます



※写真アプリはホーム画面からジェスチャー操作でも開けます

写真アプリのライブラリの基本的な操作方法です

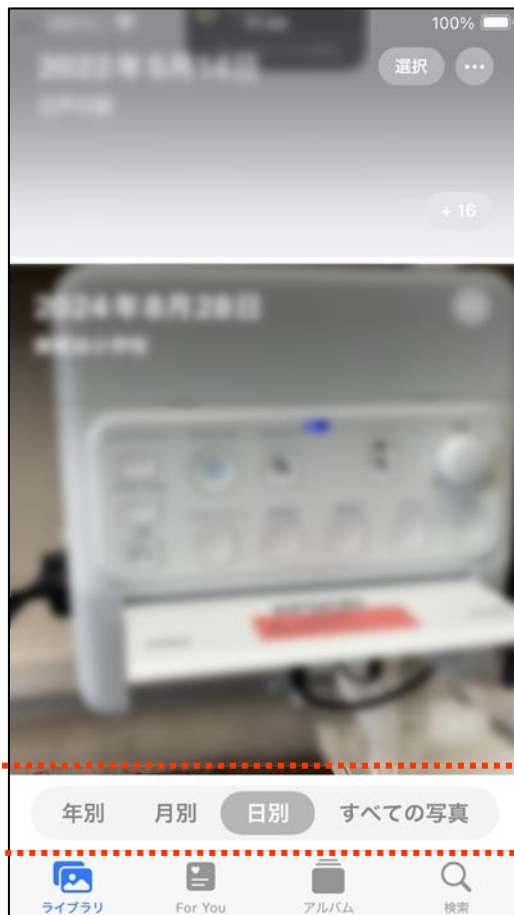
- ② 画面下部のタブバーからライブラリ  
を選択してダブルタップします



※写真アプリ起動時は、  
前回使用時に最後に開いて  
いたタブが表示されます

写真アプリのライブラリの基本的な操作方法です

- ③ タブバーの少し上にある  
「日付の範囲」を選択します



※上下スワイプで  
年別や月別を切り替えます

写真アプリのライブラリの基本的な操作方法です

- ④ 目的の年月や日付を選択し、  
ダブルタップします

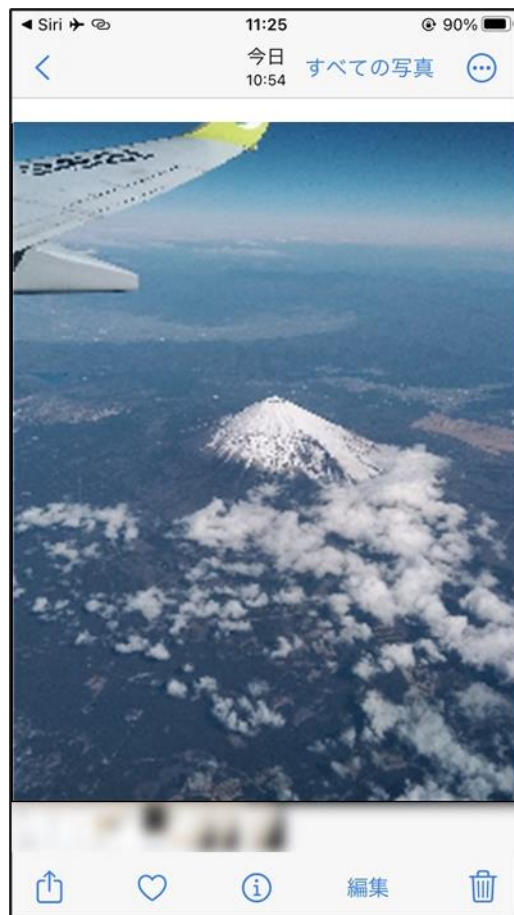


※年月や日付の後に見出しと  
読む所では先に進めません  
年月の後に写真やビデオと  
読み上げるかの確認が必要です

写真アプリのライブラリの基本的な操作方法です

- ⑤ 年、月、日と進み、最終的に選んだ日付の写真が表示されます

※この手順まで進むと、カメラアプリのビューアでの閲覧と同じ画面表示になります



※ライブラリは絞り込み機能ではないため、選んだ日付よりも前後の写真を表示することが可能です




写真アプリのライブラリの基本的な操作方法です

- ⑥ 3本指で左右にスワイプして写真を切り替えます




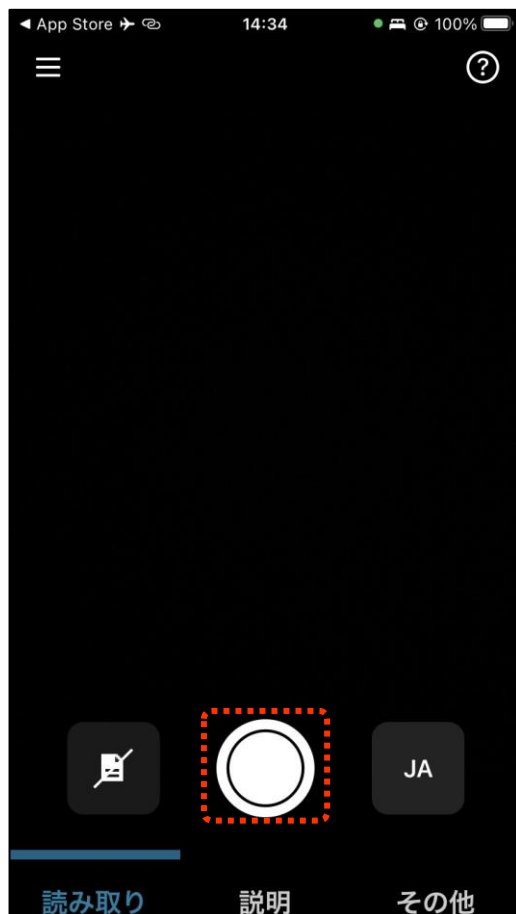
## Seeing AI(シーイングエーアイ)についての説明です

マーク	概要
	<p>Seeing AI(シーイングエーアイ)とは、マイクロソフトが開発した無料のアプリで、画面下部チャンネルを選択することで多彩な機能を利用できます。</p> <p>※ダブルタップや音量ボタンでの撮影はできません</p> <p>※Siriでこのアプリを開く場合、アプリの正式名称を声に出してもSiriが聞き取れず、アプリが開けないことがあるため、「エーアイを開いて」など、言い方を工夫する必要があります</p>

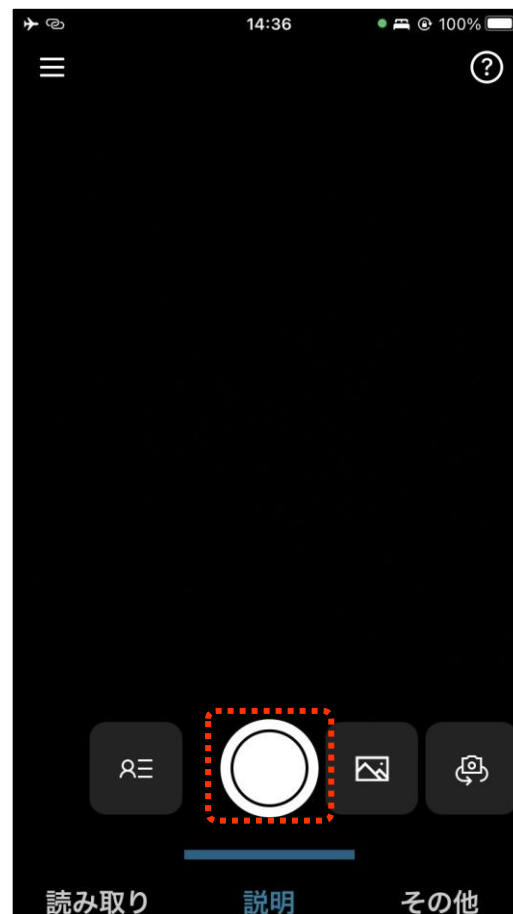
※こちらのアプリは最初からiPhoneに搭載されているものではないため、インストールする必要があります

撮影したものの情報を認識し、読み上げます

- ① 「読み取り」機能や「説明」機能では、撮影ボタン  をダブルタップします



※「読み取り」機能は  
撮影した文章を読み  
取り、スマートフォン  
上に表示する  
機能です

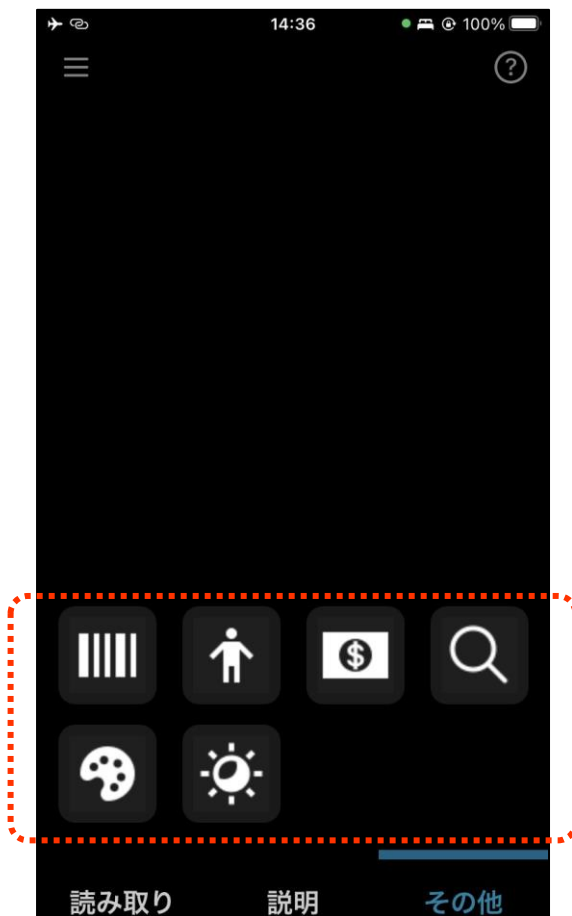


※「説明」機能は  
撮影した対象に  
ついての説明を  
スマートフォン  
上に表示する  
機能です







※撮影ボタン  
以外の箇所の  
ダブルタップや  
音量ボタン  
での撮影は  
できません

撮影したものの情報を認識し、読み上げます


- ② 「その他」機能では、ダブルタップで機能を切り替えます



各チャンネルの機能は以下の通りです

①製品		カメラを向けた商品のバーコードを読み上げる機能です。 ※すべての商品を読み上げるわけではありません。
②人物		カメラを向けるとカメラに映る人物とのだいたいの距離を教えてください。 カメラで撮影するとだいたいの年齢や恰好を教えてください。
③通貨		カメラを向けると紙幣の認識をして教えてください。
④自分の物を探す		あらかじめアプリに自分の物を学習させ、カメラを向けることで物を認識し、音で場所を教えてください。
⑤色		カメラを向けるとカメラに映った色を教えてください。
⑥ライト		周りの明るさを音の高低で教えてください。

## Sullivan+(サリバンプラス)についての説明です

マーク	概要
	<p>Sullivan+(サリバンプラス)は、文字認識を得意とする視覚障害者向けカメラ読み取りアプリです。</p> <p>機能としては「AIモード」「文字認識」「顔認識」「イメージ描写」「色認識」「光の明るさ」「拡大鏡」といった種類があります。</p> <p>※AIモードは、カメラで写した内容が物体なのか、文字なのか、色なのかといった情報をすべて自動で認識し内容をVoiceOverで読み上げます</p>

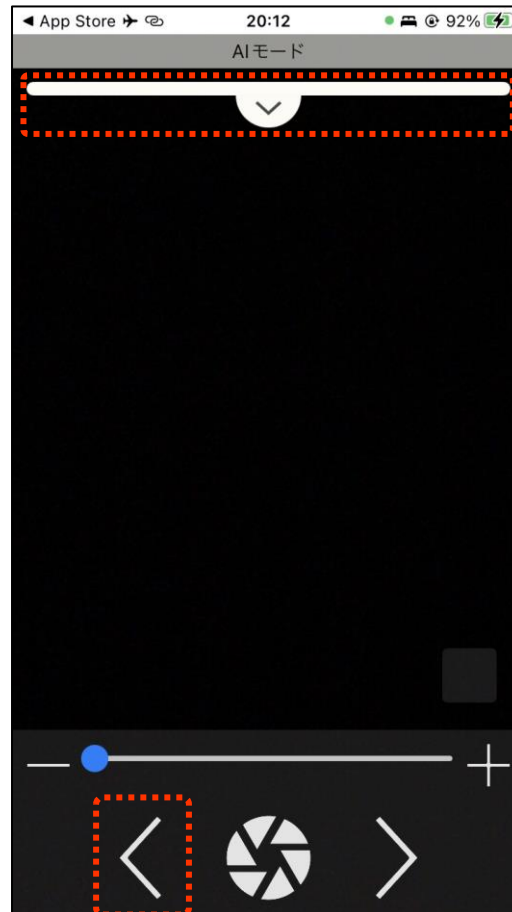
※こちらのアプリは最初からiPhoneに搭載されているものではないため、インストールする必要があります

表示モードを選択し、撮影してアプリに読み上げさせることができます

- 1 アプリを開き、画面左下の三角マークをダブルタップします

※基本操作は、画面の下側中央にある「キャプチャー」をダブルタップするか、本体側面の音量アップ・ダウンボタンで撮影すると認識結果を読み上げます

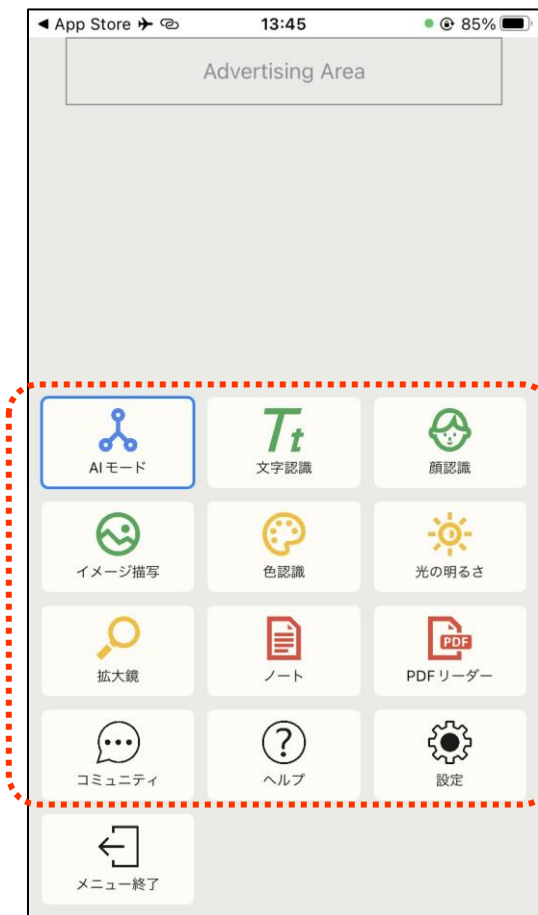
名刺のような小さな紙からA4サイズの書面まで高精度に認識できます  
設定により、アプリを開いた直後のモードを優先的に「文字認識」にすることができます



※「キャプチャー」をダブルタップすると、画面上部の白枠内に認識結果が文字で表示されます

チャンネルを選択し、上下のスワイプで多彩な機能を利用できます

② ダブルタップで表示モードの切り替えができます



※初期設定では、アプリを開くとAIモードが選択されるようになっています



## 2 便利なアプリ

マップアプリはiPhoneに搭載されており、Siriも利用できます

① Siriで「〇〇までの経路を調べて」と声をかけます

② マップアプリで経路候補が表示されます

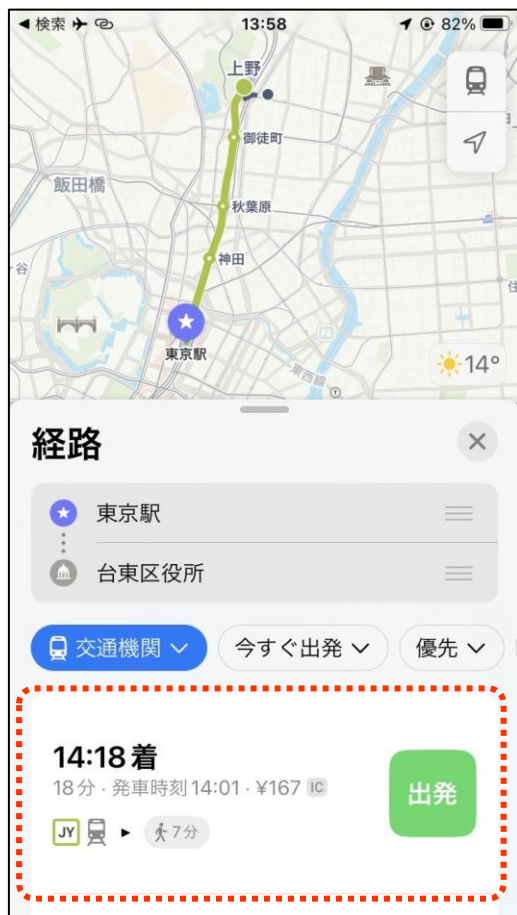


※Siriには  
建物名や  
住所など  
を伝えます



マップアプリはiPhoneに搭載されており、Siriも利用できます

③ スワイプで経路候補を確認し、候補をダブルタップします



④ 経路詳細が表示されるので、タッチやスワイプで詳細を確認します



※ここでは電車などの乗り換え時間などを確認できます

※到着時間や利用公共交通機関を読み上げます

マップアプリはiPhoneに搭載されており、Siriも利用できます

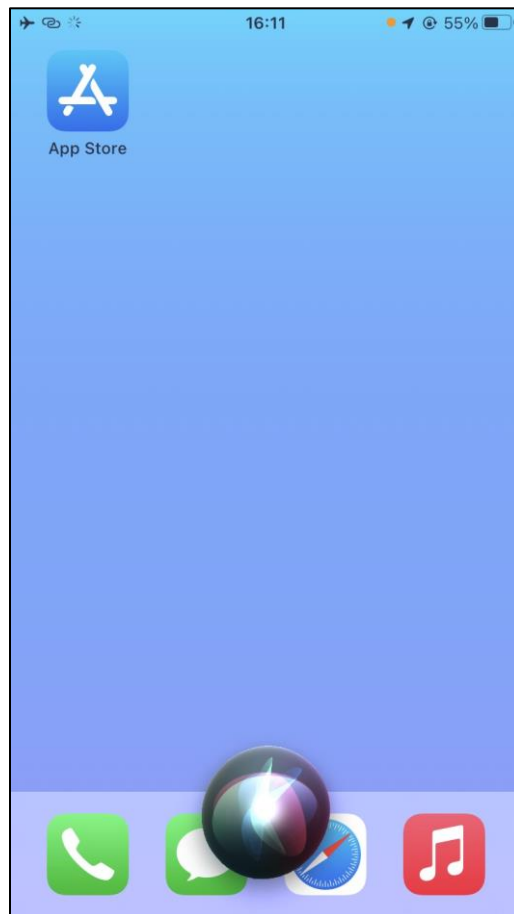
- 5 画面右上の完了ボタンをダブルタップすると、再度経路一覧に戻れます



※ナビを起動したい場合は、選択したい経路候補から右スワイプで一つ進んだ出発ボタンをダブルタップします  
徒歩のみのルートの場合は、経路候補を選んでダブルタップした直後にナビが開始します

radikoはiPhoneでラジオ放送を楽しむことができるアプリです

- 1 Siriを起動して「ラジコを開いて」と声をかけます

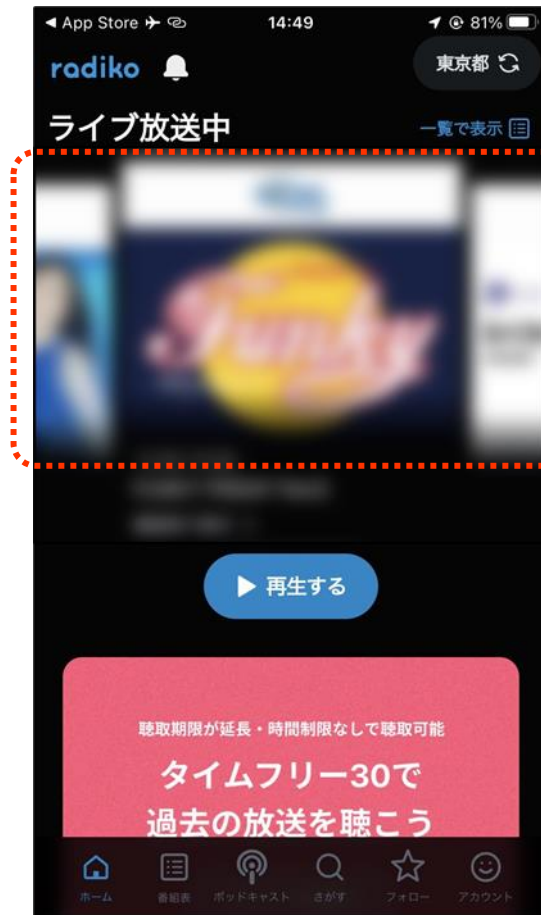


※こちらのアプリは最初からiPhoneに搭載されているものではないため、インストールする必要があります

※ホーム画面からジェスチャー操作でも開けます

radikoはiPhoneでラジオ放送を楽しむことができるアプリです

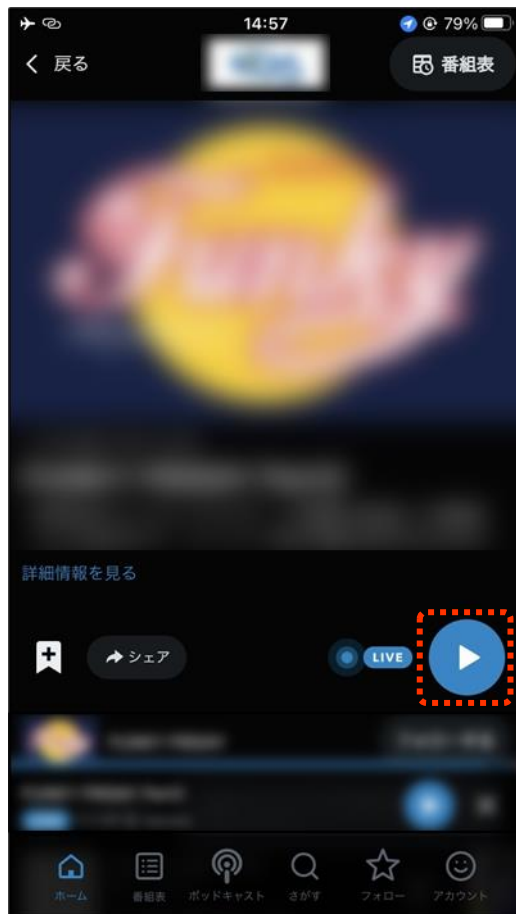
- ② タッチやスワイプで聞きたい番組名  
を探し、ダブルタップします



radikoはiPhoneでラジオ放送を楽しむことができるアプリです

- ③ 再生ボタンをダブルタップすると  
ラジオが流れ出します

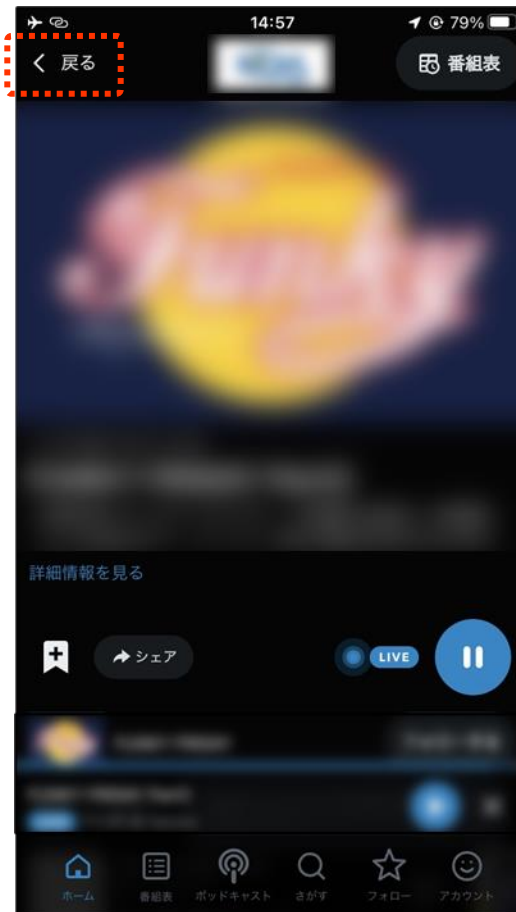
※一部、左右のスワイプだけでは  
移動できない箇所があるため、  
ローターをコンテナに切り替えて  
上下のスワイプを利用すると  
便利です



※再生を停止したい場合は  
2本指でダブルタップします

radikoはiPhoneでラジオ放送を楽しむことができるアプリです

- ④ 番組選択画面に戻りたい場合は、  
戻るボタンをダブルタップします





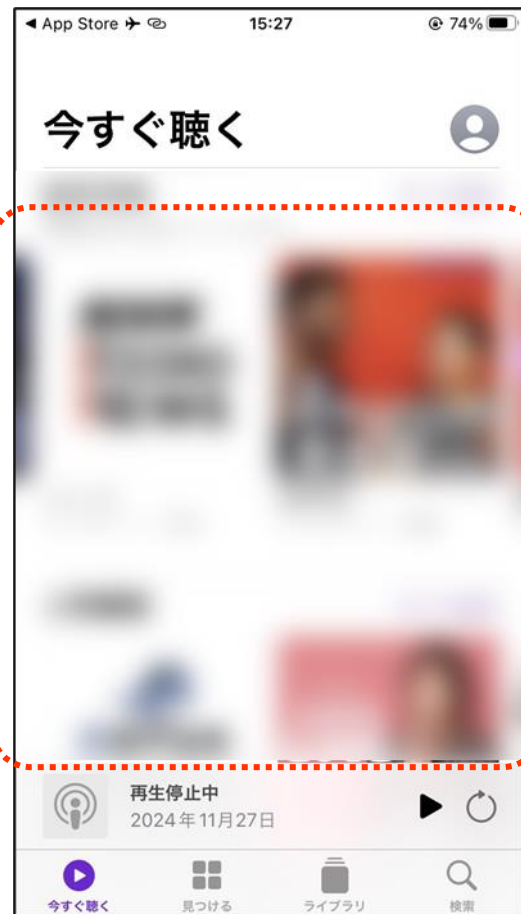
Podcastはラジオ番組の録音放送などを聞くことができます

- ① Siriを起動して「Podcastを開いて」と声をかけます



※Siriで  
Podcastの番組を再生した場合、バックグラウンド再生用のプレイヤーが使用されます

- ② タッチやスワイプで聞きたい番組名を探し、ダブルタップします



※再生を停止したい場合は2本指でダブルタップします

Podcastはラジオ番組の録音放送などを聞くことができます

- ③ 「最新のエピソード」をダブルタップすると再生されます

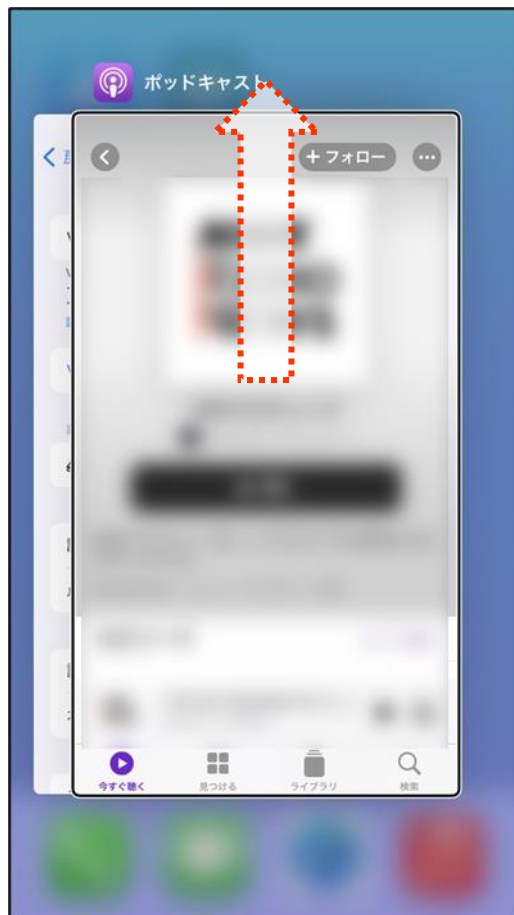


- ④ 再生を停止したい場合は「一時停止」をダブルタップします



Podcastはラジオ番組の録音放送などを聞くことができます

- ⑤ 完全に終了するには、開いているアプリを一覧で見ることができる状態にしてから終了します



※ホームボタンを押すことでバックグラウンド再生用のプレイヤーを画面から隠して再生や停止を行うことが可能ですが、プレイヤーが動いていたことを忘れて、ふとしたタイミングで再生されてしまう場合があるため注意が必要です  
Podcastアプリを1度起動して、開いているアプリを一覧で見ることができる状態にしてから終了すればこういったことは起こりません

ボイスメモはICレコーダーのように録音や再生が可能です

- 1 Siriを起動して「ボイスメモを開いて」と声をかけます



- 2 画面上を2本指でダブルタップして録音を開始します

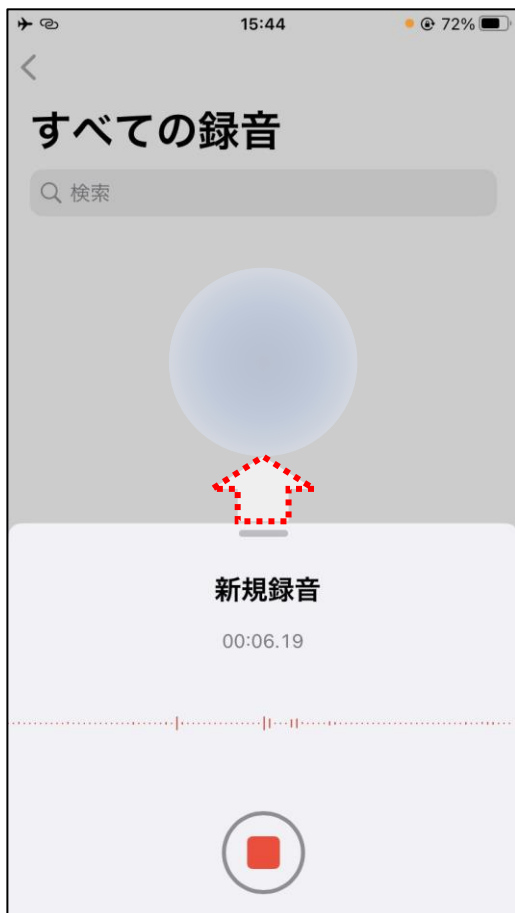


※通話中など、他のアプリでマイクを使用中には利用できません

ボイスメモはICレコーダーのように録音や再生が可能です

③ 画面上を2本指でダブルタップして録音を停止します

④ 画面中央付近の再生ボタンをダブルタップすると録音した内容を確認できます



※「新規録音」と読み上げるところでダブルタップすると、録音データのタイトルを編集することが可能です

ボイスメモの再生は以下の方法で行います

- 1 Siriを起動して「ボイスメモを開いて」と声をかけます

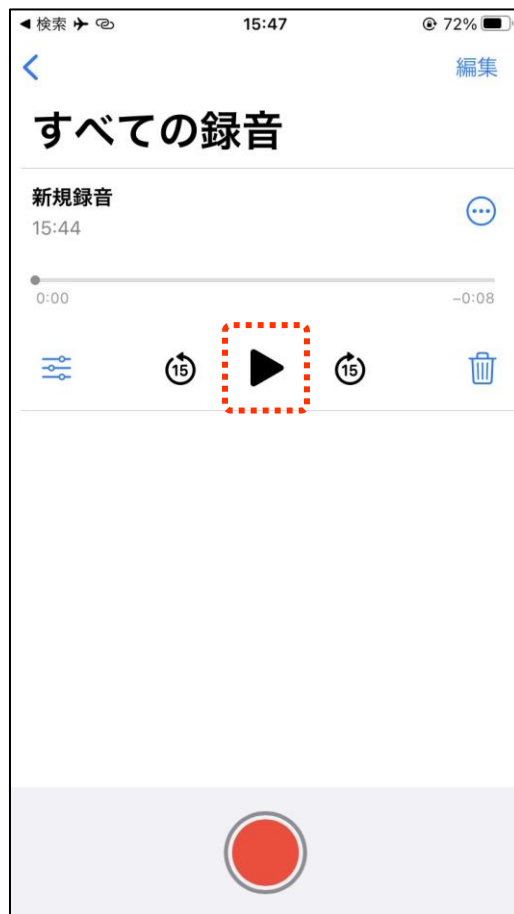


- 2 右スワイプで再生したいメモのタイトルを選び、ダブルタップします



ボイスメモの再生は以下の方法で行います

- ③ タッチやスワイプで再生ボタンを選び、ダブルタップすると録音データが再生されます



※ボイスメモではメモ一覧や各メモの再生ページを表示していても、2本指でダブルタップすると新規録音が始まりますので注意が必要です

ボイスメモの削除は以下の方法で行います

- 1 Siriを起動して「ボイスメモを開いて」と声をかけます



- 2 右スワイプで削除したいメモのタイトルを選びます





ボイスメモの削除は以下の方法で行います

- ③ 上下のスワイプで削除ボタンを選び、ダブルタップします

